

日本映画放送株式会社 第65番組審議会議事録

1. 開催年月日：平成30年9月25日（火）15時～16時
2. 開催場所：東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル15階
日本映画放送株式会社 ボーディングルーム
3. 委員の出席：委員総数 7名 / 出席委員数 6名
出席委員（順不同、敬称略）：菊地 実・鈴木 嘉一・尾形 敏朗・田保橋 淳・
鳥居 美砂・西 正
欠席委員（敬称略）：砂川 浩慶
放送事業者側出席者：常務取締役 佐藤 信彦
編成制作部長 小川 英洋
編成制作部 三宅 歩
編成制作部 小林 良弘
番審担当 堤 靖芳
清水 明（記）

4. 議題（1）審議事項

日本映画専門チャンネル「日曜邦画劇場『蒲田行進曲』」について

（2）報告事項

時代劇専門チャンネル「さだまさし時代劇スペシャル！松平健編」について

5. 議題（1）概要

今年生誕70年を迎えた劇作家、つかこうへい。日本映画専門チャンネルでは、6月にニッポン放送でオンエアされたラジオドラマ「ストリッパー物語」と連動し、つかこうへい原作映画を「つかこうへい映画まつり」と銘打ち、7～8月の2ヶ月連続で特集放送した。その中で深作欣二が監督した“つか映画”の代表作『蒲田行進曲』を、日本映画専門チャンネルの人気番組「日曜邦画劇場」で、チャンネル初放送した。解説番組には、主演の風間杜夫をゲストに迎え、共演の松坂慶子と平田満にもビデオ出演し、撮影当時の秘話やつかの人物像などを聞いた。インタビュアーは番組支配人、軽部真一（フジテレビアナウンサー）が担当した。

【審議ポイント】

- 旧作に光を当て、その素晴らしさを視聴者に存分に伝える内容になっていたか。
- 以前番組審議会で挙げていただいた、本編終了後の後解説までどう視聴者の興味を繋げるか、といった課題に対し、答えとなる番組になっていたか。

6. 議題（1）審議内容

- ・『蒲田行進曲』を改めて見て、やはり名作は良いものだと感じた。どうしたら過去の名作に触れさせるか。「名作×若者」を考えていきたい。
- ・つかこうへい特集は良い意味で意外だった。日本映画専門チャンネルならではだ。後解説は本編の余韻を味わいながら見るものだから、それを壊してはならないし、補完する内容を期待する。そうした意味で、今回の後解説は非常に良い出来だった。
- ・以前の審議会で「本編を見たら後解説は見ない」と発言したが、『蒲田行進曲』では期待して後解説も見た。映画専門チャンネルとしては、紹介や解説を充実させて強みにしてほしい。名作は何度でも観なおさなくてはならないと反省した。
- ・舞台を知る身としては物足りなさを感じてしまう一方、深作映画として良い作品だと思った。解説は3人がそれぞれに語るの、違う話が飛び出し、内容に深みが増した。
- ・「映画を観てもつかこうへいを理解したことにはならない」「生で舞台を見てこそだ」と感じた。風間がつかについて語っていたが、充実した内容で、つかを知らない人でも興味を引かれたら。軽部アナウンサーは作品やキャストやスタッフの情報を熟知し、更にきっちり下調べてインタビューしているのが伝わってくる。だからこそ相手も乗って話してくれるのだろう。こうした取り組みを今後もぜひ続けてほしい。
- ・『蒲田行進曲』を見直して、主人公は平田演じるヤスだと気づいた。深作監督の映画愛、大部屋俳優に溢れている名作だ。本編前後の解説は大変興味深く、それぞれのコメントを効果的に編集していた。話は楽しかったし、最初の配役が松田優作と宇崎竜童だったというのも意外だった。また、実際に階段落ちを演じたスタントマンのエピソードにも驚いた。新しい発見が多い見応えがある番組だった。
- ・映画でありながら舞台のようで、私は両方のいいとこどりができていると好感を持った。解説については以前の審議会で指摘された点が改善され、出演者インタビューも楽しめ、全体としての仕上がりも良かった。過去の名作を取り上げる際は、出演者やスタッフに撮影裏話を聞く機会を増やし、日本映画界のアーカイブにしてほしい。

各委員からの発言に対して、当社からの説明・回答は以下の通りであった。

- ・軽部支配人の「日曜邦画劇場」は12月2日で放送888回を迎える予定で、CSでは珍しい長寿番組になった。本編を流すだけの配信との差別化を含め、今後も内容の濃い解説が売りの番組として続けていきたい。今回のように歳月を経たからこそ、関係者が話せる内容もあるだろう。
- ・語るに値する作品だったからこそ、おもしろいインタビューになった。そういう意味で、映画がおもしろいから、おもしろい解説ができたのだと実感している。今やるべき解説番組だった。また、聞き手の軽部アナウンサーが情熱的にリサーチを重ねているからこそ、関係者の本音が聞き出せている。スタッフも番組をつくりながら勉強させてもらっている。

7. 議題（2）報告事項

【時代劇専門チャンネル「さだまさし時代劇スペシャル! 松平健編」について】

8月11日(土・祝)に、時代劇チャンネルの名物企画「さだまさし時代劇スペシャル!」にて、チャンネルの現イメージキャラクターの1人である松平健を特集した。さだまさしとの豪華対談に寄せられた視聴者からのメッセージは過去最高数を記録し、時代劇スターならではの逸話、秘話の数々が飛び出した。当日は朝10時から夜9時まで「暴れん坊将軍」「騎兵隊」「座頭市物語」など松平のデビュー作や代表作、そして松平が主演したチャンネルオリジナル長編時代劇「鬼平外伝 正月四日の客」を一挙放送した。

8. 連絡事項

次回番組審議委員会は、平成30年11月20日(火)16時より開催。